



■車いす安全整備の重要性

当園に入所している利用者全員が車いすに乗車し、日中のほとんどの時間を車椅子に乗車して過ごしています。また、最近では地域移行支援や個別支援などで外出する機会も増えています。しかし、空気圧の調整や故障以外で車いすのメンテナンスは行われていないのが現状です。施設は福祉用具を管理する義務があり、保守管理上の責任を問われることがあります。利用者の日常生活支援や事故防止のためにも車いす安全整備の視点を持つことが重要です。

■車いす事故の例

- ・ 移行支援時、ブレーキが掛からず車椅子が動いてしまう。
- ・ 外出時、突然キャスターが加水分解で割れてしまう。
- ・ フットサポートが低く、段差にぶつかった衝撃で前方に転落してしまう。
- ・ ティルト・リクライニングのワイヤが切れて姿勢調節ができなくなってしまう。

■車いす安全整備の取り組み

今年度より車いす安全整備の基本的な知識・技能をもったリハビリスタッフが年 2 回（5 月・11 月）全ての利用者の車いすの安全点検を行います。不備が見つかった際は、リハビリスタッフで対応が可能な場合にはその場で整備します。リハビリスタッフで対応が困難な場合には車いす業者に修理を依頼します。点検後、車椅子の状況や整備箇所、修理の必要性などについて担当職員に報告します。

不明点や確認事項がありましたら、いつでもリハビリスタッフまでお声かけください。ご協力の程よろしくお願い致します。

